

各位

会社名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス
 代表者名 代表取締役CEO 吉村 元久
 (コード: 2884、東証プライム)
 問合せ先 取締役CFO 安東 俊
 (TEL. 03-6206-1271)

(訂正)「2022年2月期 決算説明資料」の一部訂正について

2022年4月14日に発表いたしました適時開示資料「2022年2月期 決算説明資料」につきまして、一部誤りがございましたので、下記のとおり訂正いたします。訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

(訂正前)

2022年2月期 業績計画

国内事業、海外事業共に増収増益を見込む。国内事業、海外事業共に新型コロナウイルスの影響が継続することを前提とし、緩やかな回復を見込んでいる。なお、**新たなM&Aによる成長は含めていない。**

	2022年2月期		2023年2月期 (業績予想)		前年比	(単位: 百万円)
	構成比		構成比			
売上高	29,283	100.0%	30,526	100.0%	104.2%	【売上高】 国内事業は、現状維持を前提とし、十二支の新卒に合わせることで増収 海外事業は、緩やかな回復を見込む
営業利益	620	2.1%	800	2.6%	129.1%	
経常利益	958	3.3%	748	2.5%	78.0%	【経常利益】 国内事業は、価格安定及び生産効率化等による増益を見込む 海外事業は、売上の回復による増益を見込む
当期純利益	405	1.4%	374	1.2%	92.4%	
EBITDA	1,577	5.4%	1,660	5.4%	105.3%	

(注) EBITDAは、営業利益に償却費(減価償却費、のれん)、コロナ関連補助金収入およびM&Aにかかわる取得費用を加算して算出

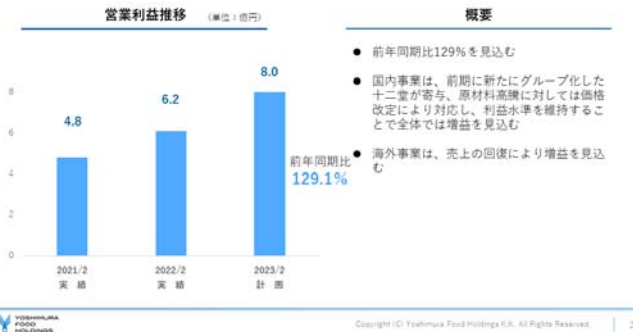
2022年2月期 業績計画 - 売上高

国内事業は安定的に推移し、海外事業は新型コロナウイルスで減少した売上が徐々に回復すると想定し、前年比**104.2%**の計画



2022年2月期 業績計画 - 営業利益

海外事業は、売上が徐々に回復することで、営業利益も回復することを想定し、前年比129.1%の計画



2022年2月期 業績計画 - その他

原材料価格等の高騰に対応するため、国内及び海外共に販売先への価格改定を実施。為替相場の変動が大きいため、為替差損益が発生する可能性がある。

- 原材料価格高騰、物流費用の増加に対応するため価格改定・規格改定を実施

グローバルなサプライチェーンの混乱や天候不順、エネルギーコストの上昇により、食品原材料価格が世界中で高騰している。当社グループで購入する原材料、包装資材、物流費も高騰しており、これらの増加に対応するため価格改定（値上げ）及び規格改定（内容量変更）を実施するとともに、より一層の製造合理化、コスト削減を実施することで、利益率の維持・向上を図る。

- 為替相場変動に伴う業績の変動

為替相場が大きく変動しており、主に当社からシンガポール子会社に対する買付金等の評価額が変動し、為替差益、もしくは為替差損が発生する可能性がある。当社はシンガポールにおける事業を今後も継続するため、為替予約等によるヘッジは行わない方針。

(訂正後)

2023年2月期 業績計画

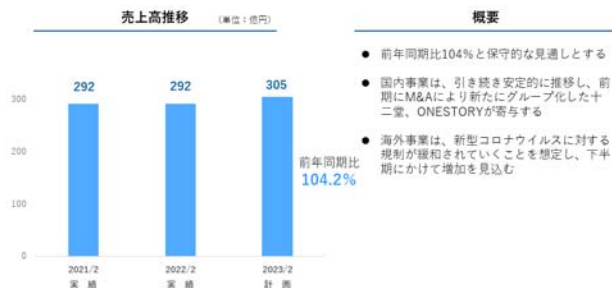
国内事業、海外事業共に増収増益を見込む。国内事業、海外事業共に新型コロナウイルスの影響が継続することを前提とし、緩やかな回復を見込んでいる。なお、**新たなM&Aによる成長は含めていない。**

	2022年2月期		2023年2月期 (業績予想)		前年比	(単位：百万円)
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	29,283	100.0%	30,526	100.0%	104.2%	【売上高】 ✓国内事業は、現状維持を前提とし、十二堂が新たに加わることで増収 ✓海外事業は、緩やかな回復を見込む
営業利益	620	2.1%	800	2.6%	129.1%	
経常利益	958	3.3%	748	2.5%	78.0%	【営業利益】 ✓国内事業は、価格改定及び生産効率化等による増益を見込む ✓海外事業は、売上の回復による増益を見込む
当期純利益	405	1.4%	374	1.2%	92.4%	
EBITDA	1,577	5.4%	1,660	5.4%	105.3%	

(注) EBITDAは、営業利益に償却費（減価償却費、のれん）、三つ子関連増収金収入およびM&Aにかかる取得費用を加算して算出

2023年2月期 業績計画 - 売上高

国内事業は安定的に推移し、海外事業は新型コロナで減少した売上が徐々に回復すると想定し、前期比**104.2%**の計画



概要

- 前年同期比104%と保守的な見通しとする
- 国内事業は、引き続き安定的に推移し、前期にM&Aにより新たにグループ化した十二堂、ONESTORYが寄与する
- 海外事業は、新型コロナウイルスに対する規制が緩和されていくことを想定し、下半期にかけて増加を見込む

2023年2月期 業績計画 - 営業利益

海外事業は、売上が徐々に回復することで、営業利益も回復することを想定し、前期比**129.1%**の計画



概要

- 前年同期比129%を見込む
- 国内事業は、前期に新たにグループ化した十二堂が寄与、原材料高騰に対しては価格改定により対応し、利益水準を維持することで全体では増益を見込む
- 海外事業は、売上の回復により増益を見込む

2023年2月期 業績計画 - その他

原材料価格等の高騰に対応するため、国内及び海外共に販売先への価格改定を実施。為替相場の変動が大きいため、為替差損益が発生する可能性がある。

- 原材料価格高騰、物流費用の増加に対応するため価格改定・規格改定を実施

グローバルなサプライチェーンの混乱や天候不順、エネルギーコストの上昇により、食品原材料価格が世界中で高騰している。当社グループで購入する原材料、包装資材、物流費も高騰しており、これらの増加に対応するため**価格改定（値上げ）及び規格改定（内容量変更）を実施するとともに、より一層の製造合理化、コスト削減を実施することで、利益率の維持・向上を図る。**

- 為替相場変動に伴う業績の変動

為替相場が大きく変動しており、主に当社からシンガポール子会社に対する貸付金等の評価額が変動し、為替差益、もしくは為替差損が発生する可能性がある。当社はシンガポールにおける事業を今後も継続するため、為替予約等によるヘッジは行わない方針。

以上